

神奈川

企業や自治体で「クールビズ」が相次ぎ始まり、県内の百貨店が清涼感を出せる衣料品など関連商品の販売に力を入れている。定番のジャケットやシャツだけでなく、今年はパンツや靴下など足元を含めたファッションが注目。消費増税の影響で高額品の売り上げが落ち込むなか、クールビズ商戦に期待する。

白いパンツで「いらっしやいませ」。そう、横浜店(横浜)では毎週日曜に男性従業員が白パンツ姿で来店客を迎える。従業員のアシストを参考にもらい、商品をアピールする狙いだ。その効

白パンツや短い靴下…



果もあってか、4月1日、5月1日までの白パンツの売り上げは前年同期比2・7倍と好調に推移している。

同店は昨年より約2週間早く4月1日からクールビズ商品の販売を開始。「消費増税の反動対策もある」とい、目新しさを強調できる白パンツの品ぞろえを前年比2・2倍に増やした。女性向けのクールビズではワンピースに運動靴を

今年の夏は足元から

従業員のファッションで商品をアピールする(横浜店)

県内百貨店 クールビズで提案

合わせるファッションなどを提案している。

高島屋横浜店(同)では、くるぶしが見えるほどの短さの浅きソックスが人気。裾が短めのパンツと組み合わせ、足首を露出させることで涼しさを出すファッションを容認する職場もある。清涼感のあるコットン素材の商品など様々な種類をそろえた。従来は秋冬に多いスエード素材を使った靴も、足首を露出させる一環で売れているという。

京急百貨店(横浜)では6月ごろから本格的にクールビズ関連の商品を販売する。

無料窓口、新たに6カ所

ランドマーク税理士法人 相続相談で

ランドマーク税理士法人(横浜市)は相続に関する相談を無料で行う店舗を神奈川県内を中心に増設した。JR横浜線の沿線が中心で、鴨居駅前と町田駅前に新設するなどこのほど6店舗開設した。来年からの税制改正で、首都圏を中心に相続税の課税対象者が増えることに対応する。

東京・丸の内線に昨年5月、無料の相談窓口「丸の内相続プラザ」を開設。同様の窓口を横浜市の支店、東京都町田市に広げた。新規2店舗のほか、本社のある横浜ランドマークタワーなどにはすでにある拠点に併設した。贈与など相続対策、相続税の試算といった相談にワンストップで対応し、実際に遺言書を作成したり、相続税申告をしたりする場合などは有料になる。

相続への関心が高まっているのを背景に、今年必要が出てくる人が増える予想されている。

体の状態 スマホで判定

県がチェックシート作成

神奈川県は病気になる前の段階である「未病」の状態を把握するチェックシートを作成した。ス

小田急グループの大山観光電鉄(神奈川県伊勢原市)は来年10月、大山ケーブルカーに新型車体を導入する。開業50周年に合わせた初の大規模設備投資で、安全性を高めるためレールも新しいものに切り替える。行楽客が窓から新緑や紅葉など四季折々の眺望をより楽しめるようにする。

約16億円を投じ、5月か

丹沢大山の眺望満喫



県内乗り入れ



駅ビル開発にあわせて駅構内もリニューアルする京急川崎駅(写真上、川崎市)。小田急は最新技術を車両に搭載する



相鉄ホールディングスの投資額は64億円で、29%増やすもよう。新型自動改札機の導入を加速。現金表示の時間を短縮して後ろに並んでいる人に見られないようにしたり、IC乗車券の読み取りエラーが出たときに赤いライトを点灯させて、

私鉄4社、利便性向上に力

